

団体名 あなろぐの会 (周南市)

代表者名	岸田 信也	団体の目的 ・ 1型糖尿病について情報発信することで社会的理解を促進する ・ 患者や患者家族同士の交流会の開催や、インターネットでの情報交換・情報提供を行うことで生活の質（QOL）の向上を支援する
構成員数	10人	
設立	H27年10月	
問い合わせ先	info@analog-kai.org	

事業名 「病気を持つ人に必要な防災の備え」講演会

- 事業の目的**
- ・ 病気を持つ方やその家族を対象とし、防災対策や災害発生時の対応方法を学ぶための講演を行う
 - ・ 災害時における食を体験するため、備蓄食の試食を行う

- 事業の内容**
- ・ 「病気を持つ人に必要な防災の備え」講演会の開催
 日時：6月30日（土）10:00～12:00 場所：周南学び交流プラザ（周南市）
 講師：武田飛呂城さん（NPO 法人日本慢性疾患セルフマネジメント協会事務局長）
 内容：〈講演〉病気を持つ人の防災対策や災害時に必要な備えを講義
 〈試食〉アルファ米、米粉クッキー、缶詰パン等の備蓄食
 参加者：30人

- 事業の成果**
- ・ 講演により、防災意識の向上に繋がり、また、災害時の具体的な対応方法を学ぶことができた
 - ・ 備蓄食の試食は、食事制限やアレルギーのある方でも安心して食べられることができ、参加者から高い評価を得た

活動現場レポート！ 「病気を持つ人に必要な防災の備え」講演会〈H30.6.30/周南学び交流プラザ〉

この日の講演では、住んでいる地域の様々なハザードマップ（地震、津波、洪水等）や避難場所を、事前に確認しておくこと、病気を持つ方が災害時に薬や医療機器などで「困ること」を想定し、準備を進めておくことなど、いざという時の備えについて分かりやすく説明されました。

講演後には、パン、米、煮物、クッキー等の備蓄食の試食が行われ、備蓄食とは思えないクオリティの高さに参加者は驚かされていました。

近年多発する災害等に備え、病気を持っている人やその家族が、いざという時にどのような対応をすればよいかを実践的に学ぶ貴重な機会となりました。



講演



備蓄食の試食

